

鶴ヶ島市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画

基本的な考え方の骨子(案)

令和5年10月

1 背景

(1)時代潮流

■人口構造・世帯構成の変化

- 団塊の世代が後期高齢者となる2025年問題、団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年問題
- 生産年齢人口の減少に伴う人材不足の顕在化
- 高齢者の一人暮らしや高齢夫婦のみ世帯の増加に伴う見守りニーズの拡大と孤独・孤立の社会問題化
- 認知症高齢者の増加に伴う意思決定支援、権利擁護の重要性の高まり

■課題の複合化・複雑化

- いわゆる8050問題やダブルケア、ヤングケアラーなど課題が個人の問題から世帯の問題へ
- 制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて支え合いつながる「地域共生社会」の実現に向けた動き

■平均寿命・健康寿命の延伸

- コロナ禍を経て健康への意識・関心の高まり
- 人生100年時代における「生涯活躍社会」の実現
- 慢性疾患等の高齢者の増加による医療・介護連携の必要性の高まり

■デジタル化の進展

- ICTの発展やスマートフォン、SNSの普及によるコミュニケーションの変化
- AIやロボット等の各分野での活用に向けた動き

■新型コロナウイルス感染拡大の影響

- 心身の健康への影響
- 外出や交流機会、見守りの場、相談支援を受ける機会の喪失、孤独・孤立の顕在化・深刻化
- 「新しい生活様式」で普及してきたオンラインの活用

(2)国の介護保険制度の動向

■第9期計画の基本指針見直しの主なポイント (R5.7.10第107回介護保険部会資料より)

国が定める「第9期介護保険事業（支援）計画の基本指針（大臣告示）」のポイント案の概要は以下のとおり

①介護サービス基盤の計画的な整備

- 中長期的な人口動態や介護ニーズの適切な見込みを踏まえた介護サービス基盤の計画的な確保
- 医療・介護双方のニーズを有する高齢者の増加を踏まえた医療・介護連携の強化
- 地域密着型サービスの更なる普及や複合的な在宅サービスの整備推進、在宅療養支援の充実

②地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組

- 地域共生社会の実現の観点からの総合事業の充実
- 地域包括支援センターの業務負担の軽減と質の確保、重層的支援体制の整備
- 認知症に対する正しい知識の普及啓発による認知症への社会の理解促進
- デジタル技術を活用した医療・介護情報基盤の整備
- 給付適正化事業の取組の重点化、内容の充実・見える化など保険者機能の強化

③地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び介護現場の生産性向上

- 介護人材を確保するための処遇改善、人材育成支援、職場環境改善、外国人材受入環境整備など
- 都道府県主導の下での生産性向上に資する様々な支援・施策の総合的な推進
- 介護サービス事業者の財務状況等の見える化の推進

(3) 鶴ヶ島市の高齢者施策における現状と課題

【統計データより】


- 全国・県を上回るペースでの高齢化の進行、後期高齢者人口、要介護認定者数の増加
- 介護給付費、被保険者一人あたり給付月額が増加
- 自治会加入者数・加入率、老人クラブ会員数の減少

【各種アンケート・ヒアリング調査より】

- コロナ禍における外出控え、友人・知人と会う機会や地域活動機会の減少
- 現在のサービスでは生活の維持が困難になっている理由は「認知症の症状の悪化」が最も高い
- 事業所や団体では交流拠点づくりの意向あり、地域活動の担い手や介護人材の確保が課題

【現行計画の進捗評価より】

- 地域リハビリテーション活動支援やチームオレンジ設置等がC評価
- 相談支援体制や家族介護支援、認知症施策、権利擁護等を拡大

- 
- 健康づくり・介護予防の推進
 - 多様な主体によるきめ細かな支援、家族介護支援の充実
 - 地域とのつながり、居場所づくりの推進
 - 認知症施策の充実、権利擁護・虐待防止対策の推進
 - 介護ニーズに応じたサービス基盤の確保と事業所運営支援

2 基本理念

誰もが安心していきいきと暮らすことのできる 地域**共生**社会の実現

誰もが・・・誰一人取り残さない包括的な支援がある

安心して・・・必要なときに、必要な支援が受けられる

いきいきと・・・健康で、生きがいと役割を持つことができる

地域共生社会・・・多様な主体が参画する「つながり・支え合い」がある

3 基本目標

基本目標 1

誰もが住み慣れた地域で共に暮らすために、地域包括ケアシステムの深化・推進を図ります

- 高齢者の生活を支える医療・介護・介護予防・生活支援サービス等の適切な組み合わせによる支援
- 高齢者自身による主体的な健康づくり・介護予防活動の促進とそれを支える地域・体制づくり
- 複雑化・複合化する課題に対応できる包括的な支援体制の構築・強化

基本目標 2

誰もが自分らしく安心して暮らすために、地域で支え合う仕組みづくりを進め、日常生活を支援します

- 地域全体で高齢者の暮らしを見守り、支え合う取組みと支援サービスの充実
- 認知症になっても権利と尊厳が守られ、安心して暮らしていくことができる地域づくり
- 災害や犯罪等から命と財産を守るための防災・防犯意識の醸成及び連携・協力体制の強化

基本目標 3

誰もが健康でいきいきと暮らすために、高齢者の活躍の場と居場所を確保します

- 高齢者が生きがいや役割を持ち、地域活動や就労活動に参加できる環境づくり
- 身近な場所で集い、交流できる場の充実

基本目標 4

誰もが安心して介護サービスを受けられるようにするために、介護保険制度の安定的な運営を推進します

- 介護ニーズに応じた介護サービスの基盤整備と自立支援に向けたケアマネジメントの充実
- 介護給付の適正化に向けた取組の推進
- 介護人材の確保や業務の負担軽減、事業継続に向けた支援など事業所運営の支援

4 施策体系 (詳細は資料3参照)

基本目標 1

誰もが住み慣れた地域で共に暮らすために、地域包括ケアシステムの深化・推進を図ります

- 1 健康づくりと介護予防の充実
- 2 介護予防・生活支援サービスの充実
- 3 在宅医療と介護の連携の推進
- 4 地域包括支援センターの充実・強化
- 5 地域共生社会の構築

基本目標 2

誰もが自分らしく安心して暮らすために、地域で支え合う仕組みづくりを進め、日常生活を支援します

- 1 高齢者在宅福祉の充実
- 2 地域による支え合いの促進
- 3 認知症高齢者を支える地域づくりの推進
- 4 権利擁護支援の推進
- 5 安心・安全な生活環境の推進

基本目標 3

誰もが健康でいきいきと暮らすために、高齢者の活躍の場と居場所を確保します

- 1 生きがいづくりの支援
- 2 社会参加の促進

基本目標 4

誰もが安心して介護サービスを受けられるようにするために、介護保険制度の安定的な運営を推進します

- 1 介護保険サービスの充実
- 2 介護保険事業費の見込み
- 3 介護給付の適正化等の推進
- 4 安定的な事業所運営に向けた支援